

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし) 設定後の運用状況と今後の見通しについて

2016年9月26日

平素は、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの設定後の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

【為替ヘッジあり】

《基準価額・純資産の推移》

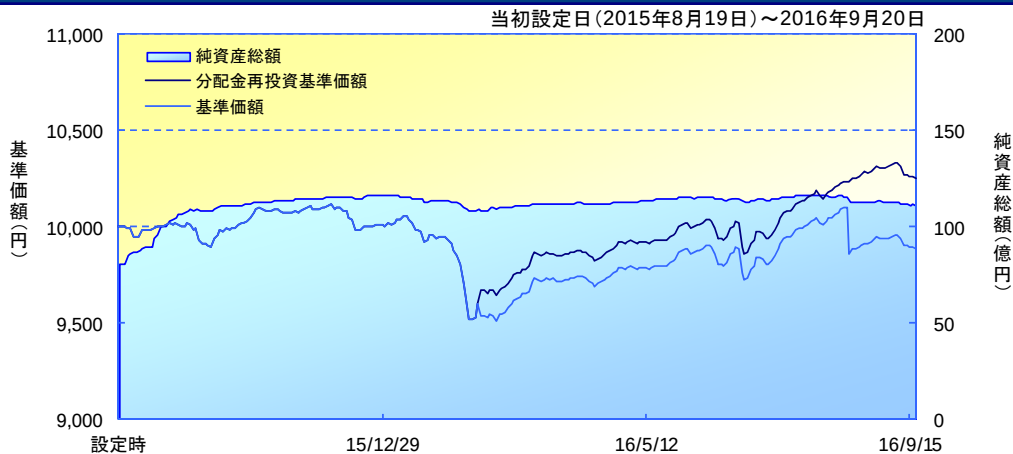
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年9月20日現在

基準価額	9,886 円
純資産総額	110億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.1 %
3カ月間	+3.0 %
6カ月間	+4.0 %
1年間	+2.4 %
3年間	-----
5年間	-----
年初来	+2.5 %
設定来	+2.5 %



【為替ヘッジなし】

《基準価額・純資産の推移》

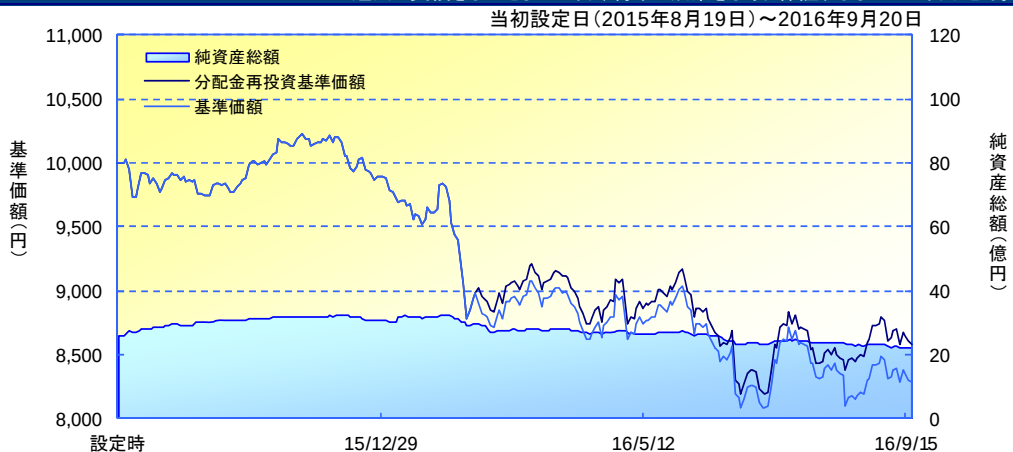
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年9月20日現在

基準価額	8,283 円
純資産総額	22億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+1.5 %
3カ月間	-0.2 %
6カ月間	-4.7 %
1年間	-12.9 %
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-13.2 %
設定来	-14.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

＜市場環境＞

当ファンドの設定日(2015年8月19日)以降のハイブリッド証券市場は、リスク回避的な動きから一時下落する場面がありましたが、全般的に横ばいの推移となりました。

ハイブリッド証券市場は、2015年8月から9月にかけての中国の景気減速懸念や、2015年末から2016年2月にかけての原油価格の低迷を受けて、下落する局面がありました。その後、原油価格が安定して推移し、市場でのリスク回避的な傾向が後退したことなどから、ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。2016年6月には英国の国民投票でのEU(欧州連合)離脱派の勝利を受けて一時下落する場面がありましたが、その後、その影響に対する懸念が和らぐなど、株式市場が堅調に推移したことなどを受け、ハイブリッド証券市場も上昇しました。

＜運用状況＞

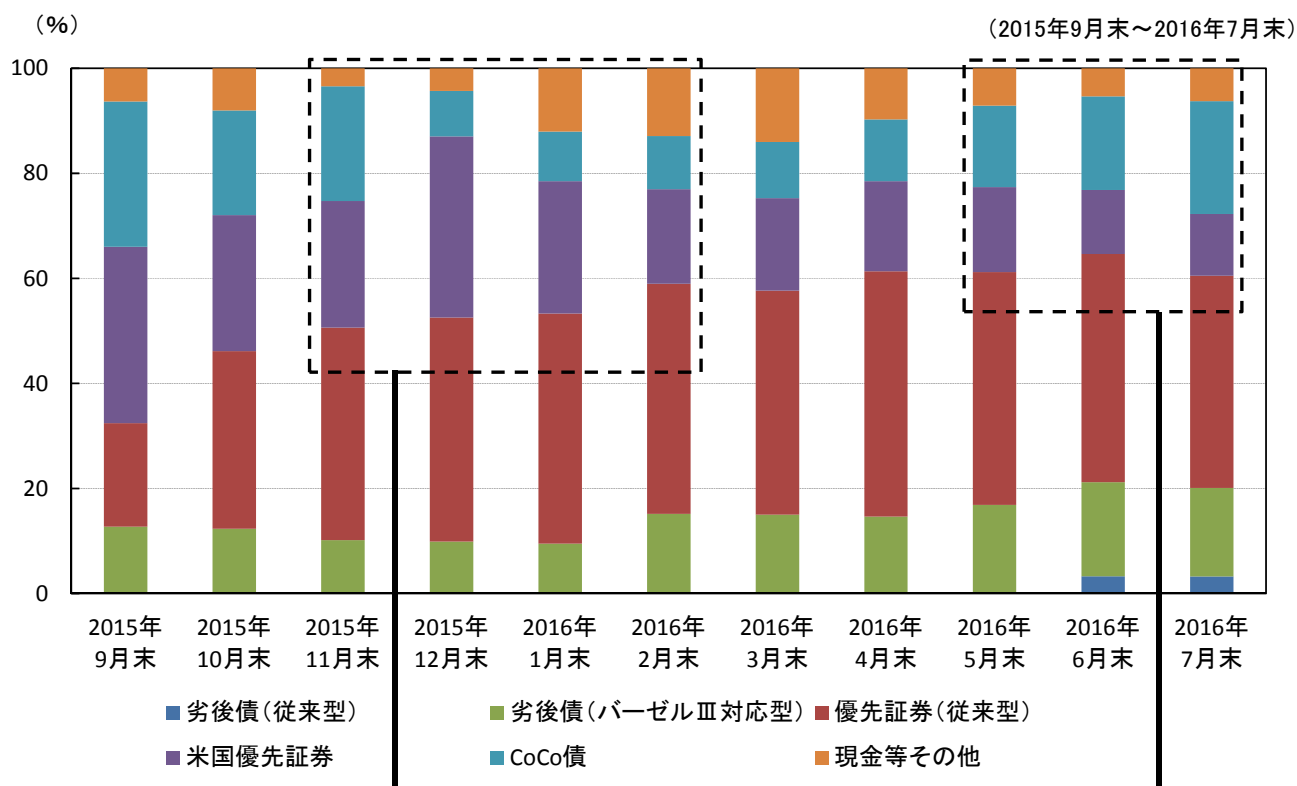
当ファンドは魅力的なハイブリッド証券への機動的な配分を通じてトータル・リターン拡大に努めました。

具体的には2015年11年から2016年2月にかけて、割高であったCoCo債を一部売却し、組入比率を引き下げました。さらに2015年末以降、中国の景気後退不安や原油価格の下落から、市場でのリスク回避的な傾向が鮮明となり、CoCo債を含むハイブリッド証券全般が下落する中、現金等の比率を引き上げたことでパフォーマンスの悪化を抑制することができました。また、2016年6月の英国における国民投票の前後においては、CoCo債の価格がファンダメンタルズ対比で割安であると判断し、組入比率を引き上げました。その後はCoCo債の価格が大きく上昇したため、当ファンドは良好なパフォーマンスを上げることができました。

＜ご参考＞CoCo債とは

- 発行体である金融機関が規制当局から実質破綻とみなされたり、自己資本比率があらかじめ定められた水準(トリガー)を下回った場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項(CoCo条項)が付帯されているハイブリッド証券です。
- CoCo条項が発動した場合、①元本の一部または全部がき損する、または、②強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。
- そのためCoCo債は、相対的に利回りが高い傾向にあります。

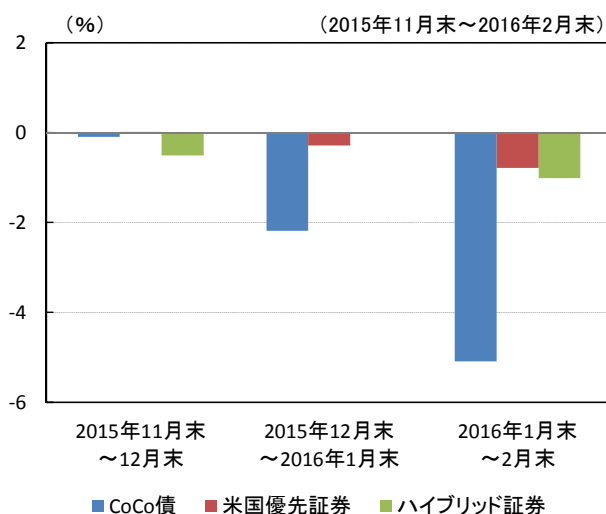
資産別構成比率の推移



<中国の景気後退不安・原油価格の急落>

投資家のリスク回避志向が鮮明になるも、年末に割高感のあったCoCo債の組み入れを下げ、年初からはキャッシュ比率を引き上げることで下落幅を抑制。

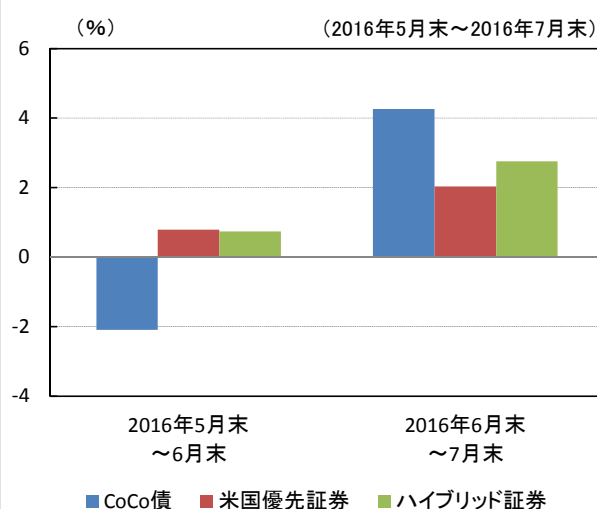
資産別リターン



<英国の国民投票でEU離脱派が勝利>

EU離脱をめぐる混乱から過度に売られ、魅力度の高まるCoCo債を買い増し。その後の反発局面でパフォーマンスに大きく寄与。

資産別リターン



※資産別リターンは米ドルベース。CoCo債はパークレイズ・グローバルCoCo債指数(銀行セクター／米ドルヘッジ)、米国優先証券はバンク・オブ・アメリカ・メルリランチ米国優先証券指数、ハイブリッド証券はパークレイズ・グローバル・キャピタル証券指数(銀行セクター／米ドルヘッジ)より。

(出所)アライアンス・バーンスタイン

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

＜今後の見通し＞

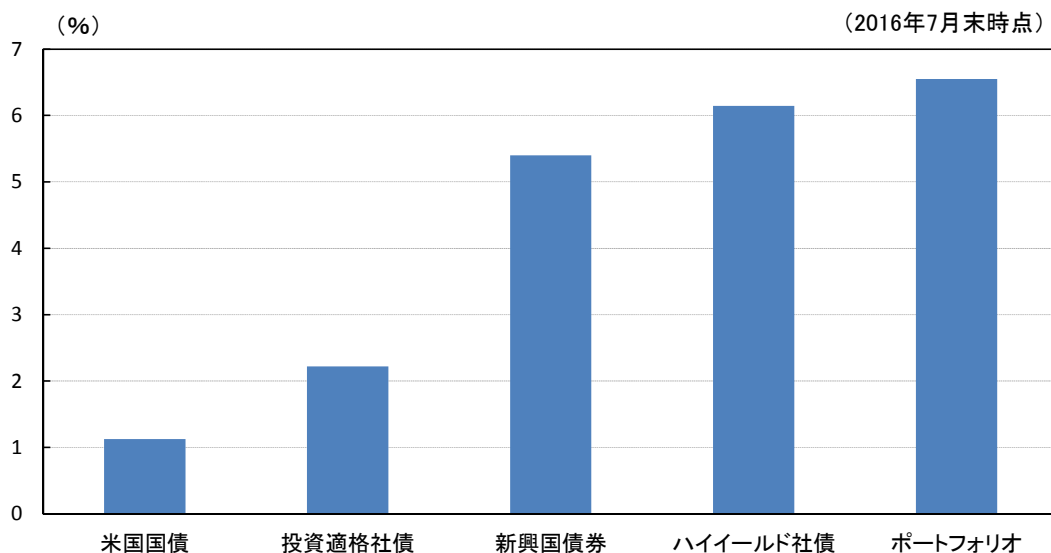
1. 魅力的な利回りを提供

各国の積極的な金融緩和が続く中、世界の債券市場は歴史的な低金利水準にとどまっています。例えば、1999年には利回りが5%以上の債券は、債券市場全体の70%以上もありましたが、現在は5%以下となっており、高利回り資産の希少性は急速に高まっています。

そのような低金利環境下で、ハイブリッド証券は、引き続き魅力的な利回りを提供しています。当ファンドのポートフォリオ利回りは6.6%と、新興国債券だけでなく、ハイイールド社債を上回る利回りとなっています。

今後も低金利環境はしばらく続くと予想される中、投資マネーはより高い利回りを追求する「イールド・ハンティング（利回り追求）」の動きが継続することが想定され、ハイブリッド証券はそのような環境下で魅力的な投資対象であると考えられます。

主要債券の利回り



※早期償還考慮後の最終利回り。米国国債はバークレイズ米国国債指数。投資適格社債はバークレイズ・グローバル投資適格社債指数、新興国債券はJPモルガンEMBIグローバル指数、ハイイールド社債はバークレイズ・グローバル・ハイイールド社債指数。

※各指数は、それぞれリスクが異なることにご留意ください。

(出所) バークレイズ、JPモルガン、ブルームバーグ、アライアンス・バーンスタイン

＜今後の見通し＞

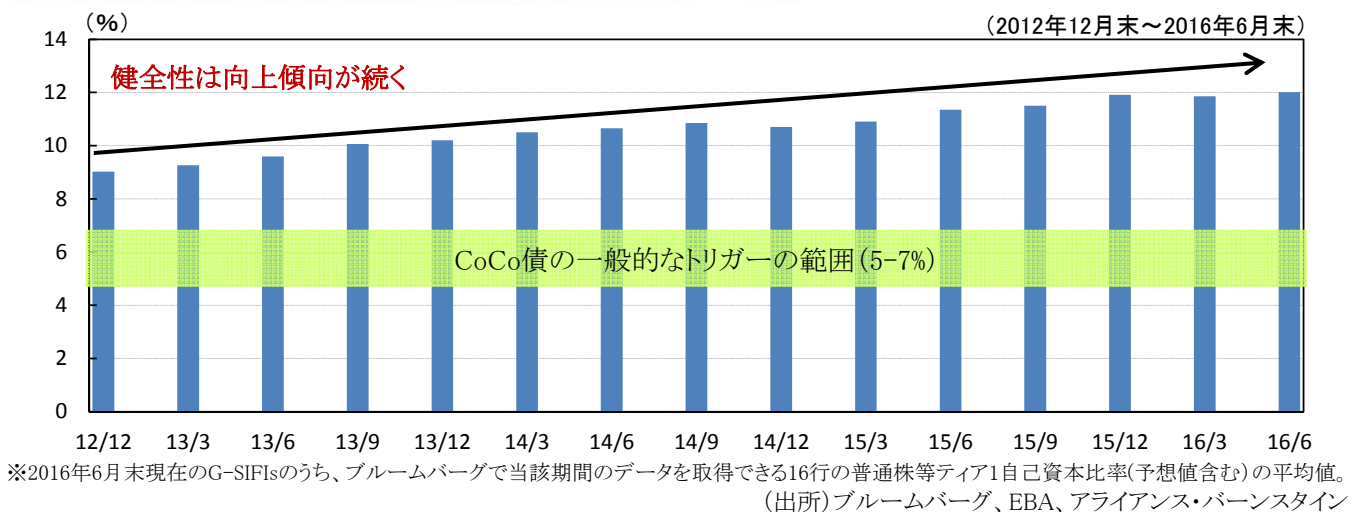
2. 世界の金融機関の健全性はさらに向上

ハイブリッド証券に投資する際に注意する必要があるのは、発行体である金融機関の財務健全性です。国際的に業務を展開する金融機関は、バーゼルⅢに対応するため、自己資本を増強してきています。特にG-SIFIsに指定された金融機関は、規制当局から要求される自己資本水準が高いことから着実に自己資本を積み増してきています。

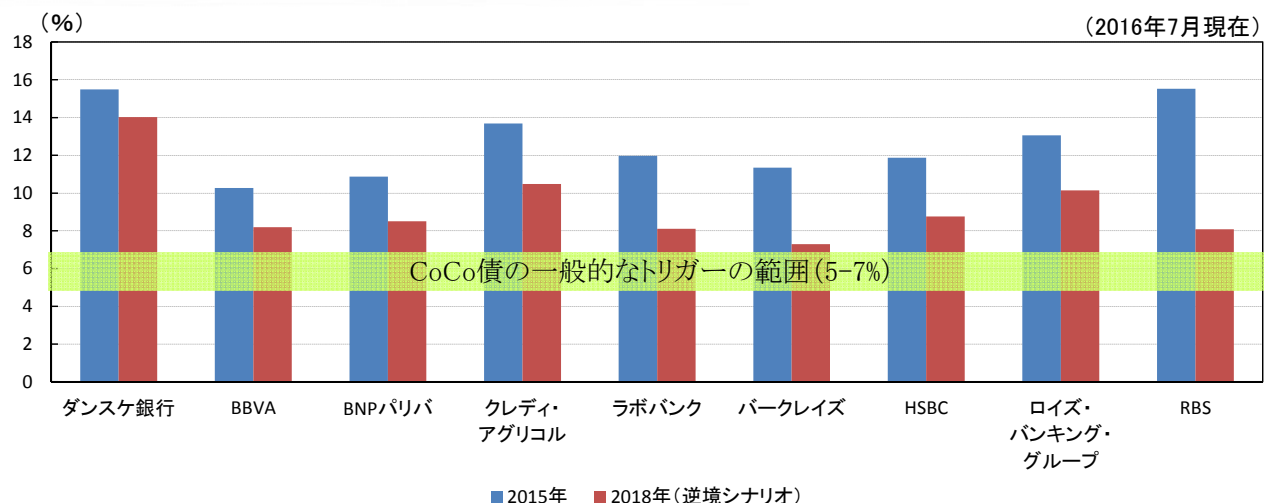
実際に、2016年7月末の欧州銀行監督機構(EBA)による欧州の銀行51行へのストレステスト(健全性審査)の結果によると、当該51行の2015年末時点の普通株等ティア1自己資本比率は13.2%となっており、2014年ストレステストに対して2%、2011年のストレステストに対しては4%増加しています。当ファンドが保有するCoCo債の発行体(ストレステスト対象外のスイスの2行を除く)は、リーマンショック級のショックが仮に繰り返されたとしても、強制的に元本のき損、または普通株式への転換が迫られる自己資本比率の水準には達しないと試算されています。

今後もG-SIFIsを中心とした金融機関への規制は強化されていく方向性にあり、金融機関の健全性はさらに高まると期待されることから、高利回りのハイブリッド証券は、引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

G-SIFIsの自己資本比率推移



主な欧州の銀行ストレステストによる、ショック時に想定される普通株等ティア1自己資本比率



※2016年7月現在。EBAの銀行ストレステストの結果。2018年はEBAの予想。EBAが想定するEU及びその他グローバル経済が一定期間低迷した場合のシナリオに基づき算出されたもの。普通株等ティア1自己資本比率はバーゼルⅢ完全実施ベース。

※上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、当ファンドに組み入れることを保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、EBA、アライアンス・バーンスタイン

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

■CoCo 債を含むハイブリッド証券に投資します。

■G-SIFIs に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資します。

ハイブリッド証券とは

- ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
- ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクおよびハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
- ◆CoCo 債以外のハイブリッド証券においても、規制当局から実質破綻とみなされた場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項が付帯されている証券があり、CoCo 債と同様の損失負担リスクがあります。

CoCo 債とは

- ◆発行体である金融機関が規制当局から実質破綻とみなされたり、自己資本比率があらかじめ定められた水準（トリガー）を下回った場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項（CoCo 条項）が付帯されているハイブリッド証券です。
- ◆CoCo 条項が発動した場合、①元本の一部または全部がき損する、または、②強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。
- ◆そのため CoCo 債は、相対的に利回りが高い傾向にあります。

2. 運用は、アライアンス・バーンスタインが行ないます。

■ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。

3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

「為替ヘッジあり」

- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

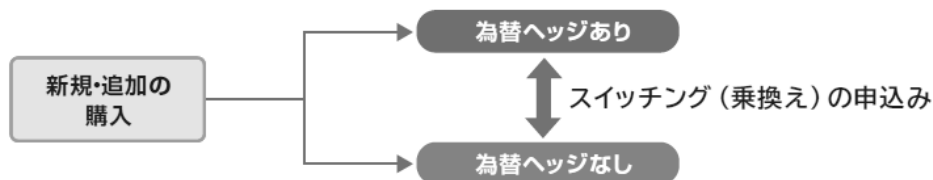
「為替ヘッジなし」

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

・スイッチング（乗換え）について

- ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）：為替ヘッジあり

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）：為替ヘッジなし

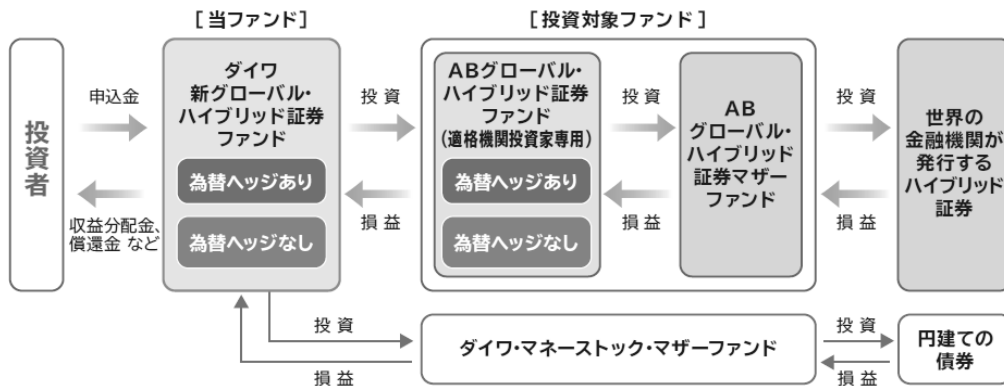
- ◆各ファンドの総称を「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド」とします。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク・損失負担条項に伴うリスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド
(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.269% (税抜 1.175%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.5724% (税抜 0.53%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.8414%(税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会